
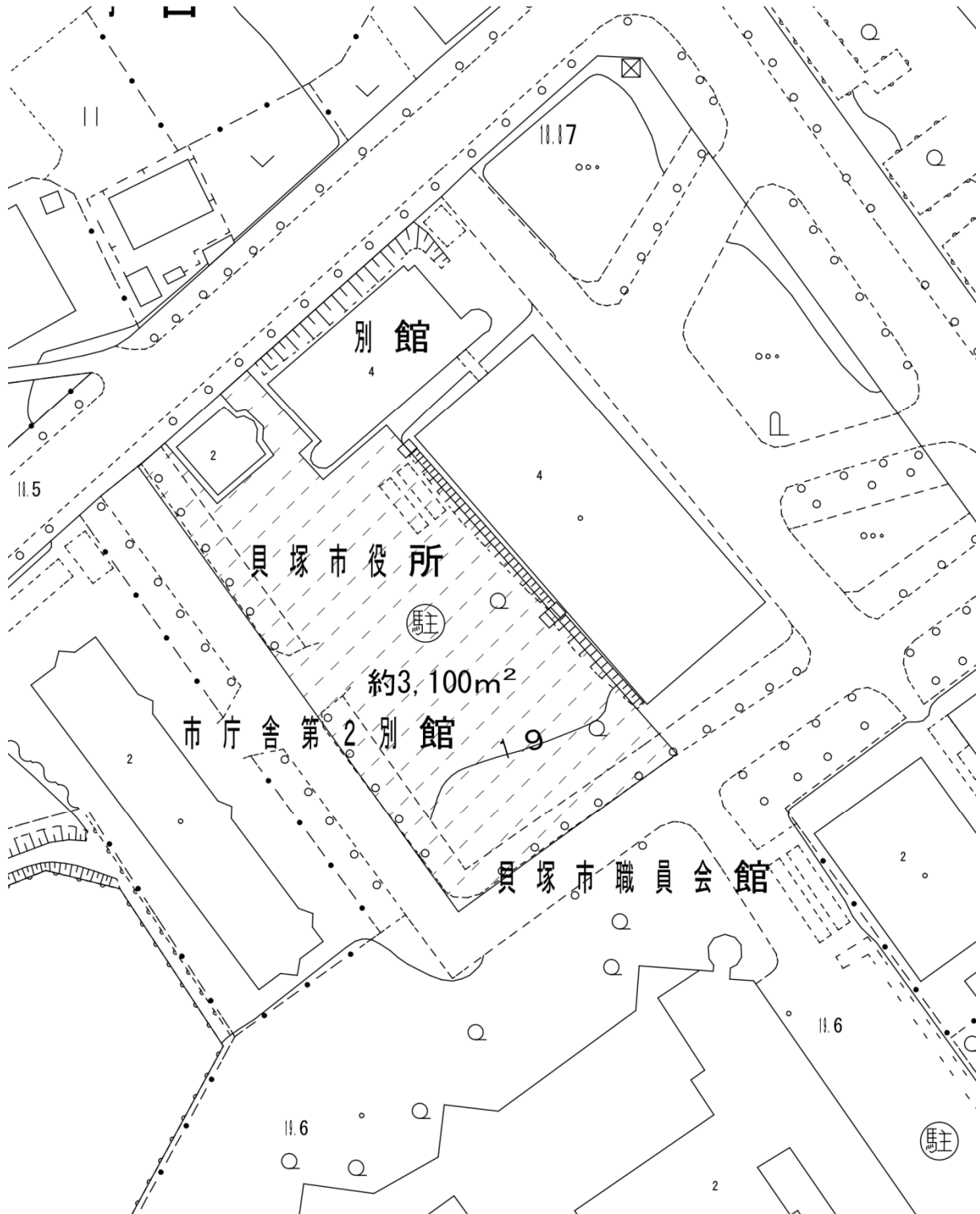


別紙5 埋蔵文化財試掘範囲図 (令和元年5月10日修正版)

埋蔵文化財試掘範囲 (約3,100㎡)



## 調 査 結 果

調 査 地 貝塚市島中1丁目55-1他

日 時 平成30年8月18日～平成30年8月22日

調査面積 160㎡

開発主体 貝塚市長 藤原 龍男

調査担当 貝塚市教育委員会 教育部 社会教育課

### 調査概要

別紙のとおり

### 措 置

調査の結果、鋤溝1条、土坑2基を検出しましたが、中世以降のものと判明しました。また、遺物は須恵器、土師器、瓦器、瓦が出土しておりますが少量であり、遺物包含層とまでは言えません。このような状況から判断いたしまして、今回の工事については、本発掘調査が必要とまでは言えませんが、工事掘削時には立会調査を実施し、地層等の記録をする必要がありますので工事計画が決まりましたら貝塚市教育委員会までご連絡ください。

また、本開発計画において開発面積の変更や敷地の変更等が生じた場合、再度協議が必要となりますのでご注意ください。

## 調査概要

加治・神前・畠中遺跡は、貝塚市域で最大の弥生時代から中世の集落跡である。これまでの調査では、貝塚市役所周辺で、奈良時代の井戸、石帯・硯といった古代の役所に関する遺構・遺物が出土している。

今回の調査は、市庁舎建替えに伴う確認調査である。建替え予定地である市庁舎裏駐車場(3,100㎡)に、8カ所計160㎡の調査区を設定して行った。

## 第1区

本調査区の地層堆積状況は、上層よりアスファルト舗装面(1、層厚0.1m)、盛土(2、層厚0.25m)、耕作土(3、層厚0.1m)、暗灰黄色砂混じり土(7、層厚0.15m)、黄褐色土(8、層厚0.18m)、褐灰色土(9、層厚0.04m)で、その下は灰黄色土(10)の地山である。第7層、第8層は農地層と考えられる。遺構は検出できなかった。遺物は須恵器、土師器、瓦器片が少量出土している。

## 第2区

本調査区の地層堆積状況は、上層よりアスファルト舗装面(1、層厚0.1m)、盛土(2、層厚0.45m)、にぶい黄褐色砂混じり土(4、層厚0.25m)で、その下は灰黄色土(10)の地山である。地層堆積状況から判断して地層は削り取られていることが考えられる。遺構は検出できなかった。遺物は出土していない。

## 第3区

本調査区の地層堆積状況は、上層よりアスファルト舗装面(1、層厚0.1m)、盛土(2、層厚0.4m)、耕作土(3、層厚0.1m)、にぶい黄褐色砂混じり土(4、層厚0.2m)、明黄褐色土(11、層厚0.18m)で、その下は灰黄色土(10)の地山である。地層堆積状況から判断して地層は削り取られていることが考えられる。遺構は検出できなかった。遺物は出土していない。

## 第4区

本調査区の地層堆積状況は、上層よりアスファルト舗装面(1、層厚0.1m)、盛土(2、層厚0.3m)、耕作土(3、層厚0.1m)、暗灰黄色砂混じり土(7、層厚0.2m)、黄褐色土(8、層厚0.15m)、褐灰色土(9、層厚0.1m)で、その下は灰黄色土(10)の地山である。第7層、第8層は農地層と考えられる。遺構は検出できなかった。遺物は瓦、瓦器が少量出土している。

## 第5区

本調査区の地層堆積状況は、上層よりアスファルト舗装面(1、層厚0.1m)、盛土(2、層厚0.52m)、暗灰黄色土(12、層厚0.25m)、褐灰色土(9、層厚0.2m)で、その下は明黄褐色土(13)の地山である。第7層、第8層は農地層と考えられる。遺構は検出できなかった。遺物は須恵器、土師器、瓦器が少量出土している。

## 第6区

本調査区の地層堆積状況は、上層よりアスファルト舗装面(1、層厚0.1m)、盛土(2、層厚0.5m)、耕作土(3、層厚0.2m)、暗灰黄色土(12、層厚0.2m)で、その下は灰黄色土(10)の地山である。第12層は農地層と考えられる。遺構は土坑2基を検出した。土坑は、ともに長軸0.5mで、埋土は第12層で上層より掘削された遺構である。遺物は瓦器が少量出土している。

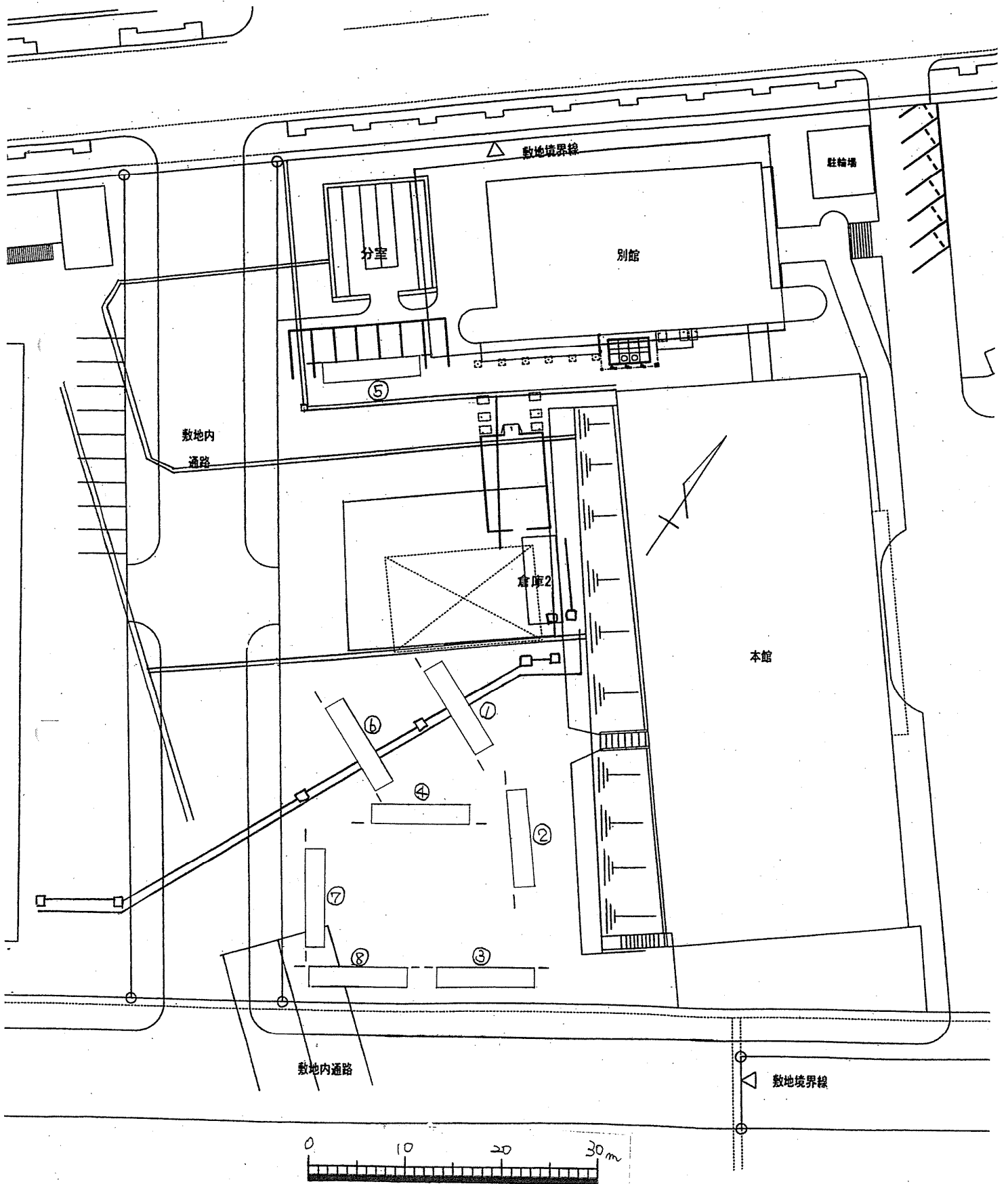
## 第7区

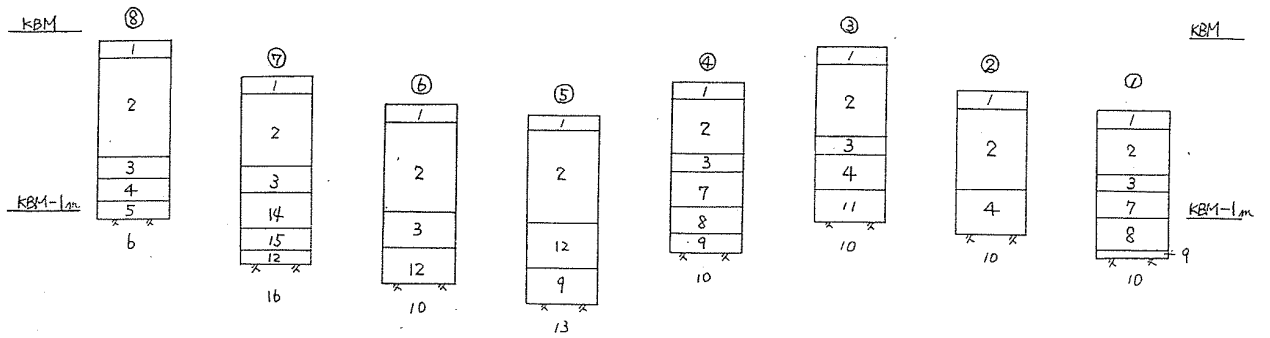
本調査区の地層堆積状況は、上層よりアスファルト舗装面(1、層厚0.1m)、盛土(2、層厚0.4m)、耕作土(3、層厚0.15m)、暗オリーブ灰色土(14、層厚0.2m)、灰色土(15、層厚0.12m)、暗灰黄色土(12、層厚0.08m)で、その下はにぶい黄色土(16)の地山である。第12層、第14層、第15層は農地層と考えられる。遺構は鋤溝1条を検出した。幅0.2mで埋土は第12層である。遺物は瓦器が少量出土している。

#### 第8区

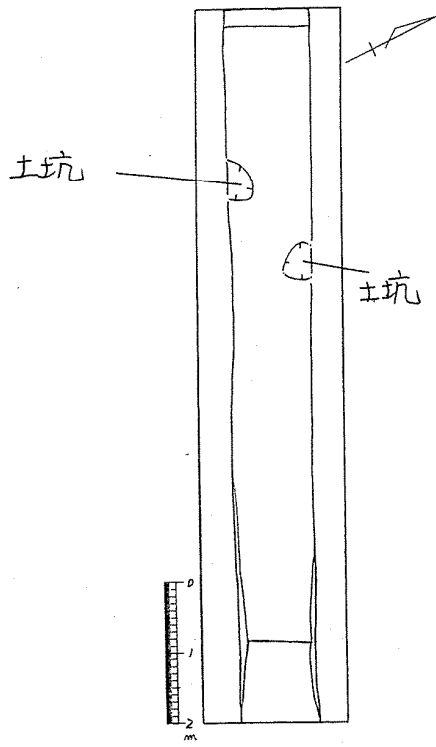
本調査区の地層堆積状況は、上層よりアスファルト舗装面（1、層厚0.1m）、盛土（2、層厚0.55m）、耕作土（3、層厚0.12m）、にぶい黄褐色砂混じり土（4、層厚0.13m）、黄褐色土（5、層厚0.18m）で、その下は明黄褐色土（6）の地山である。地層堆積状況から判断して地層は削り取られていることが考えられる。遺構は検出できなかった。遺物は出土していない。

調査の結果、鋤溝1条、土坑2基を検出したが、埋土の状況などから判断して中世以降の遺構と考えられる。また、遺物は須恵器、土師器、瓦器、瓦が少量出土する状況を確認した。今回の調査では、古代の遺構、遺物包含層は、本調査地では確認できなかった。

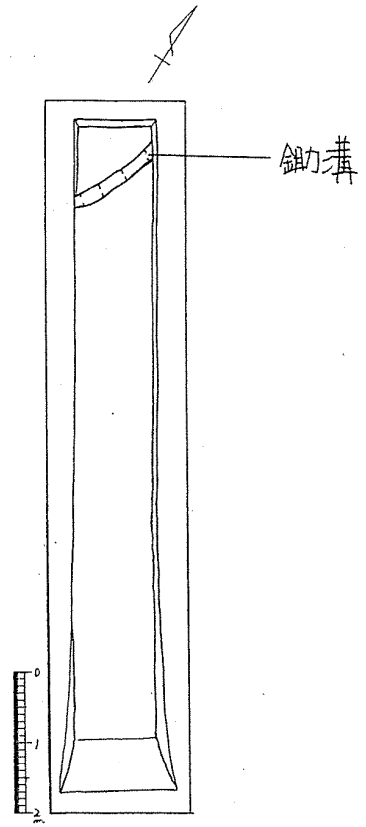




- |                         |     |
|-------------------------|-----|
| 1. アスファルト舗装面            |     |
| 2. 盛土                   |     |
| 3. 耕作土                  |     |
| 4. にぶい黄褐色砂混じり土(10YR5/3) |     |
| 5. 黄褐色土(2.5Y5/3)        |     |
| 6. 明黄褐色土(2.5Y6/6)       | 地山土 |
| 7. 暗灰黄色砂混じり土(2.5Y5/2)   | 農地層 |
| 8. 黄褐色土(2.5Y5/3)        | 農地層 |
| 9. 褐灰色土(10YR4/1)        |     |
| 10. 灰黄色土(2.5Y6/2)       | 地山土 |
| 11. 明黄褐色土(2.5Y6/6)      |     |
| 12. 暗灰黄色土(2.5Y5/2)      | 農地層 |
| 13. 明黄褐色土(10YR6/6)      | 地山土 |
| 14. 暗オリーブ灰色土(2.5GY4/1)  | 農地層 |
| 15. 灰色土(7.5Y4/1)        | 農地層 |
| 16. にぶい黄色土(2.5Y6/4)     | 地山土 |



第6区



第7区